

令和6年度小矢都市水道事業報告書

1 概況

(1) 総括事項

本市の水道事業は、市民の健康で快適な生活を支えるとともに、社会経済活動を維持するためにも欠かせないものとして、安定給水の確保、水質の安全確保、財政基盤の安定を重点施策と位置付けて事業運営にあたり、より一層の市民サービスの向上に努めています。

近年、給水人口の減少及び節水型機器の普及による有収水量の減少により、給水収益も減少傾向が続いており、更には独立採算の原則に基づく経営が求められており、水道施設の老朽化が一段と進む中での経営は、大変厳しい局面にあります。

このような状況の中で限られた財源を有効に活用するため、経費の節減や事業の効率化を徹底し、経営の安定化及び健全化を図ってまいりました。

① 給水人口及び給水状況

令和6年度末における給水契約栓数は 7,701 栓(前年度比 0.01%減)、給水人口は 17,888 人(前年度比 1.6%減)となり、水道普及率は 64.66%(前年度比 0.21 ポイント増)となりました。

年間総配水量は、2,407 千m³(前年度比 0.6%増)、年間有収水量 1,990 千m³(前年度比 0.2%増)、有収率は 82.69%となり、前年度より 0.3 ポイントの減となりました。

② 建設改良事業

水需要に応じ、未普及地域での第三次拡張事業として配水管の布設を行うとともに、安定供給のための配水施設整備事業として老朽管並びに鉛給水管の更新を行いました。

第三次拡張事業としては、西島、胡麻島、芹川、新西、金屋本江、下後亟及び水島地内で配水管布設工事を行いました。

配水施設整備事業としては、老朽管更新事業として蓮沼、島、矢水町、浅地、名畠、北一地内で行いました。また、水質基準の強化への対応として、鉛給水管の布設替工事を市内一円で行いました。

③ 財政状況

(収益的収支)

収入については、営業収益 441,489,859 円、営業外収益 129,656,125 円で総額 571,145,984 円であり、支出は、営業費用 477,269,030 円、営業外費用 20,823,496 円、特別損失 247,567 円で総額 498,340,093 円となり収支差引額は 72,805,891 円となりました。

(資本的収支)

収入は、企業債 65,000,000 円、出資金 31,807,511 円、負担金 16,208,000 円、補助金 6,396,000 円で総額 119,411,511 円であり、支出は、建設改良費 163,958,134 円、営業設備費 875,600 円、企業債償還金 215,288,387 円で総額 380,122,121 円となり、収支差引 260,710,610 円の資金不足となりました。

この不足額については、消費税等資本的収支調整額、減債積立金及び損益勘定留保資金をもって補填しました。